

様式2 職務経歴シート

氏名	推進	一郎	平成 30 年 7 月 20 日 現在	
職務経歴				
No.	期間（年月～年月） （何年何ヶ月） 会社名・所属・ 職名（雇用形態）	職務の内容	職務の中で学んだこと、 得られた知識・技能等	
1	昭和 63 年 4 月 ～ 平成 5 年 3 月 （ 5 年 0 ヶ月 ） 株式会社霞ヶ関システム 営業部 係員 （ 正社員 ）	営業職として、幅広い業界に対して会計経理システムの営業を行った。	営業職に必要な基本的な技能を身につけた。様々な業態の、企業規模が比較的小さな会社のニーズをくみ取ることができた。	
2	平成 5 年 4 月 ～ 平成 7 年 3 月 （ 2 年 0 ヶ月 ） 株式会社霞ヶ関システム 営業部 営業主任 （ 正社員 ）	営業職として、幅広い業界に対して会計経理システムの営業を行った。	営業の経験を積み重ねたことで、様々な業態の、企業規模が大きな会社のニーズまでくみ取ることができた。	
3	平成 7 年 4 月 ～ 平成 11 年 3 月 （ 4 年 0 ヶ月 ） 株式会社霞ヶ関システム 営業部 主任 （ 正社員 ）	新製品開発企画に加わり、顧客ニーズを反映した製品を開発するための調査や、広告を通じた新製品の販売促進を担当した。 ・展示会への出展による新製品の拡販 ・専門誌への記事広告の執筆、掲載のアレンジ ・アンケート調査による営業戦略の確立	アンケート調査等を通じ、顧客からのフィードバックを収集・分析し、現在の主力商品の開発に貢献した。 この分析により商品開発後も戦略的な広告を展開することができた。	
4	平成 11 年 4 月 ～ 平成 21 年 3 月 （ 10 年 0 ヶ月 ） 株式会社霞ヶ関システム 営業部 課長代理 （ 正社員 ）	営業部に所属し、自ら営業に回る立場から、多くの部下を管理する立場になった。 ・営業部部下15人マネジメント ・パートナー企業の売上管理	部下のマネジメントでは、仕事の割り当て、裁の与え方等、部下のやる気を引き出せるよう心がけ、チームとしての営業成績を出した。マネジメントの仕事は、部下のやる気を出させることが有効であった。 部下のキャリア形成にも意をくだき、部下が自らのキャリアについて考えられるように、部下のキャリアを共に考えた。	
5	平成 21 年 4 月 ～ 平成 30 年 7 月 （ 9 年 3 ヶ月 ） 株式会社霞ヶ関システム 営業部 課長 （ 正社員 ）	営業職として、幅広い業界に対して会計経理システムの営業を行った。 ・中小企業（ベンチャー企業等）を対象とする新規開拓、ビジネスサポート ・霞ヶ関地区大手企業（売上高10億円以上）を対象に新規開拓営業 ・霞ヶ関地区パートナーの営業サポート	長期間営業の仕事に携わる中で、様々な業態・規模の企業等に対しニーズに即したサービスを提供してきた。また、マーケティングや部下のマネジメントの経験も積んでおり、個別の商談だけではなく、営業戦略を立てその目標を達成するためにチームに統率するノウハウも培うことができた。 新規開拓営業で社長賞を過去2回受賞	
6				

(第2面)

○氏名 [] の「期間、会社名・所属・職名」欄及び「職務の内容」欄について確認しました。

・会社名：

・所在地：

(期間ごとに確認する場合)

No. 1について：役職・氏名（ ）

No. 2について：役職・氏名（ ）

No. 3について：役職・氏名（ ）

No. 4について：役職・氏名（ ）

No. 5について：役職・氏名（ ）

No. 6について：役職・氏名（ ）

(同一者が全ての期間について確認できる場合)

役職・氏名 ()

(注意事項)

- 1 原則として、会社ごとに記入してください。
なお、「期間、会社名・所属・職名」欄及び「職務の内容」欄に係る会社の確認を行わない場合等は、1枚のシートに複数社の職務経歴を記入して差し支えありません。
- 2 本シートは、キャリア・プランシート作成時の資料、求職時の応募書類等として活用します。
- 3 「期間、会社名・所属・職名」欄、「職務の内容」欄及び「職務の中で学んだこと、得られた知識・技能等」欄は、本人が記入します。なお、本シートは応募書類として社外にて活用する場合があることに留意して記入してください。
- 4 「職務の内容」欄には、本人が従事した職務の内容とともに、可能な限り、果たした役割、貢献したこと等を記入してください。
- 5 所属又は職務の内容が変更されるごとに記入しますが、複数の所属の内容をまとめて記入してもかまいません。
- 6 会社が、「期間、会社名・所属・職名」欄及び「職務の内容」欄の内容を確認した場合、会社確認の欄に会社名、所在地と確認した担当者の方の役職、氏名を記入してください。
会社の確認は、主に、在職労働者が離職の際に、求職時の応募書類として活用するためのもので、可能な範囲で行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。
記録がない等により内容の確認ができない場合は、その理由等を「役職・氏名」欄に記入してください。
- 7 会社の状況に応じて、全ての期間を同一者が、又は期間ごとに異なる者が確認してください。
- 8 会社の確認が行われていない場合は、第1面のみを応募書類等として提出してください。
- 9 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。
- 10 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。
- 11 必要があるときは、各欄を区分し、または各欄に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができます。

▼同じ人の記入例をもっと見る

[様式1ー1 キャリア・プランシート\(就業経験がある方用\)\(在職者・50代\) 記入例 No41.pdf](#)